

2017年(平成29年)10月30日(月) NO 115号

K-PURO NEWS

【事業所】

◆	社名	株式会社 ケイプロ	http://www.k-puro.co.jp
◆	商号	都市防犯プランニング社	mail info@k-puro.co.jp
◆	本社	埼玉県蕨市中央 1-7-1 シティタワー蕨	TEL 048-446-9445
◆	千葉支店	千葉県千葉市中央区新町 1-20 江澤ビル	TEL 043-243-6110

【業務内容】



機械警備事業	弊社独自のセキュリティプランニングに SECOM・ALSOK・CSP のインフラを使用
防犯カメラ設置	周辺環境・建物構造・人的要因・犯罪データを分析し有効かつ適正な位置へ設置
メンテナンス事業	消防設備点検・工事から AED 幹旋に至るまでのメンテナンス業務の取扱い

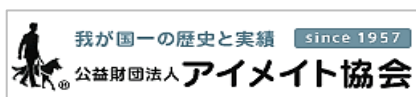


【加盟団体】



RID2770	川口モーニングロータリークラブ	http://www.h3.dion.ne.jp/~mrc/
NPO 法人	さいたま起業家協議会	http://www.saitama-kk.org/
公益社団法人	千葉東法人会	http://www.chibahojin.jp/
一般社団法人	千葉市中央区倫理法人会	http://www.rinri-chiba.org/
公益財団法人	モラロジー研究所	http://www.moralogy.jp/

【応援団体・企業】



有限会社 塙防災設備



今月の言葉



同じ本を読んでも、人によって「心をとらえる一節」は異なります。
それは、私たちの物事の感じ方が「自分の心の状態」を反映しているからではないでしょうか。
他人の欠点が気になるのは、自分の中で、その人と同じような心がはたらいっているからかもしれません。そんなときは自分の心を冷静に見つめてみましょう。
また、相手のよいところを見つけ、その美点に学ぼうとする謙虚な心を持つことで、ますます美しいものが見えるようになる気がします。
その分だけ、自分の中の「美しい心」も増えていくと良いですね。

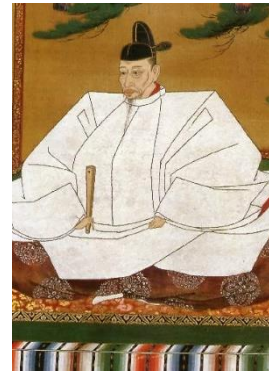
今月の良い話 「先人に学び 頂点を極める」



「経営の神様」と呼ばれた松下幸之助氏は、戦国の名三武将である、織田信長、豊臣秀吉、徳川家康の特徴が表れた歌を見て、「鳴かぬなら それもまたよし ほどどぎす」と詠ったと言います。そして、社員に対し、「自分は、信長、秀吉、家康よりも偉い」と語ったそうです。

自身を三武将よりも「偉い」と言った松下氏は、信長の良いところを社員に伝えました。

次に、「秀吉はもっと偉い。それは、信長の良いところと悪いところを学んで活かしたから、秀吉の方が信長より偉い」と言い、続けて、「秀吉よりも、家康のほうがもっともって偉い」と語りました。



この内容を読んでおわかりのように、松下氏は「三武将の良いところと悪いところを学んで経営に活かしたから、自分は偉いんだ」と社員に伝えたかったのです。これだけの話であれば、単なる社長の自慢話で終わってしまいます。しかし、この話には続きがあるのです。

「けどな、キミの方がもっと偉くなれるんや。

信長と秀吉と家康とボクの良いところと悪いところを勉強して、仕事に活かせばええんや。

だからキミが一番偉くなれるんや」

と言ったのです。

つまり、先人の成功体験と失敗体験を学び、社長である自分をも反面教師として、自己を成長させる糧にしなさいということを社員に伝えたかったのです。

人により価値観は多様です。

しかし、今まで自分が知っていたことであっても、捉え方を変えることによって、それが新たな学びに変わることもあります。

松下氏のエピソードは、それを示してくれているのではないのでしょうか。

倫理研究所法人局

今月の良い話

「 積極人生 」



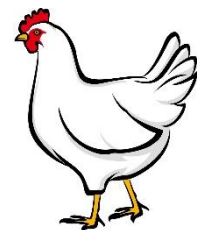
ある夏の修練会に参加した時でした。
天風先生が一羽の鶏を持ってきて気合をかけました。
すると、暴れていた鶏が麻酔でも打たれたようにピクリとも動かなくなっていました。
そして、ふたたび先生が気合を入れると、何事もなかったようにヒョコヒョコ歩き出したのです。この現象は医学ではどうにも説明が付きません。
私はその鶏を譲り受け、家でいろいろと実験しました。
しかし、どんな気合の入れ方をしても、鶏はバタバタ暴れるばかり。
業を煮やした私はその鶏を食べてしまいました。こんな調子の私です。

先生には目が離せない感じがしたのでしょう。本当に可愛がっていただきました。
ご家族に入って食事をするのは毎度のことで、何かといえば「森田」「森田」とお呼びになり、私も先生にお仕えすると何か嬉しく、生き生きした気分がふくらむのでした。

さて、話は一気に昭和 43 年に飛びます。
その 12 月 1 日、天風先生は 93 歳でお亡くなりになりました。
ご臨終の枕頭にはご家族や天風会会長など 7、8 人が並んでいました。
私もその中の一人でした。先生は肺ガンでした。肺ガンの末期は激痛に呼吸困難が伴い、大変苦しみます。麻酔薬の投与なしに耐えられるものではありません。
だが、麻酔薬を拒否し自宅での自然な死を選ばれた先生は、「痛い」とも「苦しい」とも一言も洩らされず、穏やかな表情でした。私はそこに先生が説かれた心身統一法が具現されているのを見ました。
苦しくないはずがありません。痛くないわけがありません。
だが、心と体は一つととらえる先生は、強い精神力で肉体の苦痛を乗り越えているのです。

それでもやがて、先生のお顔は歪みました。痰が詰まって呼吸ができないのです。
吸引器で痰を吸い取りますが、末期は痰の濃度が増して気管にからみ、膿も滲出して吸引器が利かなくなります。苦しみに歪む先生の表情に、突然私は激情がこみ上げ、押し流されました。
夢中でした。私はガバッと先生のお顔に伏せ、マウス・トゥー・マウスで痰を吸い取りました。
スルッと痰は取れました。「森田、楽になったよ」先生は穏やかな表情に戻られました。
「みんな、ありがとう」の言葉を最期に笑みを浮かべて天風先生が息を引き取られたのは、それから 30 分ほどのちでした。あんなに美しい最期を私は見たことがありません。

いつも医者とは冷静でなければなりません。激情に駆られるなどもってのほかです。
だが、先生の最期に痰を吸い取らせたあの激情は、心と体は一つという先生の教えが私の中にしみ込んでいた表れでした。それは私にとって嬉しいことでした。
あれから 38 年。それは私にとって、心と体を一つととらえる先生の教えを医療の上実践する日々でした。
そして、先生の教えを追いかけの中で思うのは、精神を常に前向きにと心がけることによって、心身共に充実した積極人生を歩むことができたという実感です。
最後の最後まで心身統一の積極人生を貫き、あの美しい最期を迎えられた天風先生の、せめて半分の境地に達したいものだ。それがいまの私の願いです。



森田浩一郎(元日本医師会常務理事)

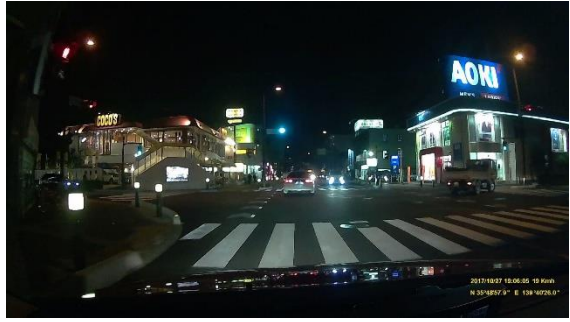
月刊致知 2006 年 8 月号

事件ファイル NO115 ドライブレコーダー検証

購入したドライブレコーダーの検証です。各 5 点計 50 点満点評価(41 点/50 点)

- ①価格 → カロツツェリア(パイオニア製) ND-DVR10 16,500 円 4 点
- ②画素数 → 207 万なのでとても綺麗 4 点
- ③画角 → 105 度と結構広角 4 点
- ④日時記録 → 右下に日時・速度・緯度を表示 5 点
- ⑤夜間照度 → もう少し明るい方が良いが合格点 3 点
- ⑥フロントガラス映り込み → 直射日光が当たるとやや反射するが映像確認には問題ない 3 点
- ⑦録画日数 → 32GB で 2 日間 3 点
- ⑧駐車時監視 → モーション設定で動くものを感知し録画 5 点
- ⑨音声録音 → ON[設定で可 5 点
- ⑩再生操作 → PC で専用ソフトをインストール 操作容易 5 点

* 夜間照度や録画日数は改善の余地ありだが、コストパフォーマンスはかなり高く満足度は高い。



プロ太の小話集 NO115 『 お利口な犬 』

犬の主人 「うちの犬は町で一番利口なんだ」

主人の友 「どんなふうに？」

犬の主人 「毎朝、新聞と牛乳をくわえて持ってくる」

主人の友 「ふーん。その程度なら、町で一番ってこともないんじゃないかな？」

犬の主人 「でもうちは新聞も牛乳もとってないんだぜ」



今月の K-PURO ニュースいかがでしたか？

「排除いたします。」この一言から一気に風向きが変わったといわれている希望の党。

今まで何をやっても追い風が吹いていた小池さんに絶望という試練が吹きました。

一寸先は闇、驕り、言葉の持つ重さをつくづく感じさせられます。

勇気を与えるのも言葉から。反面、人を傷つけてしまうのも言葉から。言葉の持つ重みを考えながら

謙虚な姿勢を忘れずに発言をしなければならない。今回の衆議院選挙から学びました。

注:プロ太とは、写真のK-PURO番犬です (体長 10メートル・体重 1トン・無敵無敗)